

英知
誠実
健康
学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

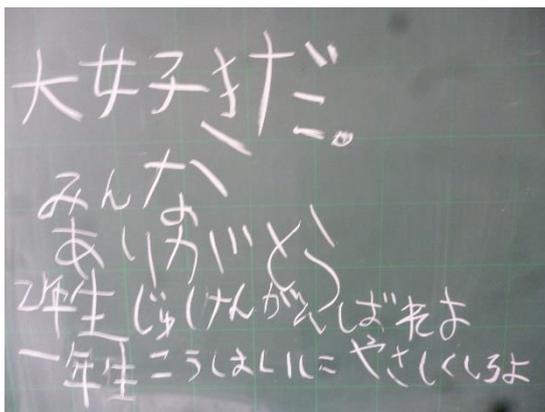
平成28年度 3月号

メッセージ

校長 水野 茂

3月3日、336名の卒業生が立派な姿で巣立っていきました。卒業式にむけて、1・2年生が卒業生のために、教室を飾り付けたり、胸花を作って贈ったり、大切な式場をつくり学校中を念入りに掃除したり、本当によくやってくれました。そのどれもが、卒業生へのメッセージであり、しっかり届いていたと思います。卒業生からのメッセージは、式の中での所作や授与の時の大きな返事、届けとばかりの歌声に込められていました。

卒業式前日、特別支援学級の黒板に「メッセージ」が書かれていました。卒業するひとりの男子生徒から、学級の1・2年生に向けてのメッセージでした。聞けば、その生徒は誰もいない教室で、ひとり書き始めたそうです。自分の「卒業」をしっかり受け止め、日頃は言えない1・2年生への思いと、「自分も頑張るから」という強い意思が伝わってくるメッセージです。



メッセージにはいろいろな形があります。言葉や文字はもちろんですが、言葉や文字でなくても、表情や行動、ちょっとした気づかひも、気持ちや心がそこにあれば力強いメッセージになり、相手やまわりに確実に伝わります。今年度の「卒業式」で、そのことを改めて感じました。4月から始まる29年度の旭中学校が、感謝や感動、思いを伝える「メッセージ」であふれることを期待しています。

一年の振り返り



一年前の始業式、旭中学校で皆が、仲間とともに成長していけるよう、あいさつ・返事・掃除・時間を守ることなど、「当たり前のことが当たり前でできること」、そして「何事にも一生懸命に取り組むこと」、「ひとの役に立つこと」に意識を高くも

- 当たり前のことが当たり前でできること
- 何事にも一生懸命取り組むこと
- ひとの役に立つこと

って取り組んでほしいことを伝えました。この三つのことについて、自分で振り返ってみてください。自分の姿を客観的に見られること、自分の課題を見つけられることができるひとは成長できます。しっかり自己評価をし、そして、新しい年度に生かしましょう。

37名のチャレンジ—中学生海外研修への応募—

29年度の尾張旭市中学生海外研修事業（オーストラリア研修）に旭中学校から37名の2年生が応募しました。女子23名、男子14名。研修に参加した先輩からの話や、文化発表会での「研修報告」、パンフレットなどの情報から「行ってみたい！」と強い意思を抱いた子が多かったようです。参加申込書からは、「研修を通して成長したい」「一歩踏み出してみたい」「生きた英語にふれてみたい」など、それぞれの「チャレンジ」が伝わってきます。

37名の生徒は、この後、4月15日（土）の「選考（作文・面接）」に挑みます。頑張ってください！このチャレンジは、絶対に無駄にはなりません。そして、もうすでに成長しているはずですよ。

この1年、旭中学校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございました。生徒たちの成長は様々な場面で見ることができました。今後も、ご家庭・地域と力を合わせ生徒の成長を支えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。